広報紙
わたしのおぎくぼ
2017
10月・11月
No.329
9月26日発行

発行：荻窪地域区民センター協議会　〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9127　FAX 3398-9128
ホームページ　http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/
荻窪地域区民センター　杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9125　【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所　杉並区本天沼2-12-10　☎5310-4633　【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

来て！ 見て！ 楽しんで！

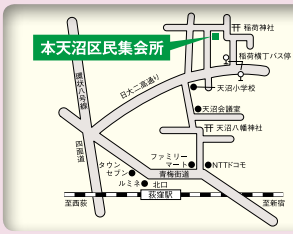
本天沼集会所まつり

雨天催行

10月1日（日）午前10時～午後4時

子どもも大人も楽しさいっぱい！

模擬店
舞台パフォーマンス
園児・児童作品展示
空くじなしの抽選会
都立農芸高校加工品販売



●徒歩
荻窪駅北口から15分

●バス
荻窪駅北口から②番のりば
中村橋行・練馬行・白鷺一丁目行、阿佐ヶ谷営業所行「稲荷横丁」下車、歩いて3分

会場：本天沼区民集会所
主催：荻窪地域区民センター協議会 ☎03-3398-9127

荻窪音楽祭

地域ふれあいマチネコンサート

11月11日（土）午後1時～4時
会場：荻窪地域区民センター
入場無料

♬13:00～ 杉並弦楽合奏団（指揮・横山 淳）
♬13:20～ 髙橋なつみ（ピアノ）
♬13:40～ デュオフローラ
高橋由紀子（ピアノ）・塩浜玲子（マリンバ）
♬14:10～ 杉並混声合唱団
小林光雄（指揮）・冨田昌子（ピアノ）
♬14:45～ 特別ゲスト 杉木峯夫（トランペット）
東野匡訓（トランペット）・下田 望（ピアノ）
♬15:20～ アンサンブルフライザイン
伊藤理恵（ピアノ）・濱田協子（ヴァイオリン）・濱田 遥（チェロ）

杉木峯夫　（©望月 孝）

会場：荻窪地域区民センター
主催：荻窪地域区民センター協議会 ☎03-3398-9127

これからのイベント・講座

10月
- 1日（日）：「本天沼集会所まつり」（会場：本天沼区民集会所）
- 5日・12日・19日・26日（木）：「いきいき朗読教室」
- 6日・13日（金）：「ふれあいベビーヨガ」
- 21日（土）：「なつかしい昭和の歌たち」

11月
- 11日通月：「荻窪の記憶」パネル展示
- 10日・17日（金）：「背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操」
- 11日（土）：「荻窪音楽祭 地域ふれあいマチネコンサート」
- 12日（日）：「荻窪の記憶」シリーズ講座（5回目）
- 15日（水）：「地域懇談会」
- 23日（木）：「荻窪の記憶」シリーズ講座（6回目）
- 25日（土）：「駐日ニカラグア特命全権大使」講演会
- 26日（日）：「秋を楽しむ木の実工作教室」
- 28日（火）：広報紙「わたしのおぎくぼ」12月・1月号発行

12月以降～
- 12月10日（日）：「荻窪寄席」
- 1月13日（土）：「新春経済講演会」（平成30年）
- 1月30日（火）：広報紙「わたしのおぎくぼ」2月・3月号発行
- 2月24日（土）・25日（日）：「アート展」
- 3月27日（火）：広報紙「わたしのおぎくぼ」4月・5月号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：●事業企画部　●地域交流部　●CC部　●広報部　●総務部

町名の由来と今 第9回

地名の歴史と由来／「成田西・成田東」の地名

幸田有美子（杉並区立郷土博物館分館）

ふたつの地名の変遷

「成田西」と「成田東」は、杉並区中央部にあり、その名のとおり「成田西」の東側に、「成田東」があります。ふたつの町域は、江戸期には「成宗村」と「田端村」と呼ばれていました。

「成宗村」は、小字である「矢倉」が鎌倉時代からあった陣櫓を指し、この辺りをひらいた人物の柵跡であったという説があります。この人物の名を成宗といい（『新編武蔵風土記稿』）、村名の由来に繋がったといわれています。また「田端村」は、田の端に勧請された「北野天神」の分霊が「田端天神」と呼ばれ、これが村名に繋がったといわれています。この天神は、村の鎮守「田端神社」（荻窪一丁目）のことです（写真1）。

写真1「田端神社」（筆者撮影）

さて地名の変遷の契機は、明治22年（1889）の町村制施行でした。両村は、「天沼村」「阿佐ヶ谷村」「馬橋村」と合併して「杉並村」となり、かつての村名は、各々大字となります。更に、大正13年（1924）の町制施行では、「杉並村」が「杉並町」となりましたが、大字は、そのまま引き継がれました。

矢嶋又次画「成宗の泥富士」（杉並区郷土博物館蔵）
富士講のためにつくられた富士塚「成宗富士」が描かれている。「成宗弁財天社」（成田東一丁目）に大正7年頃まであった。

大字に変化が現れるのは、昭和7年（1932）の区制施行でした。「杉並町」は、「和田堀町」「井荻町」「高井戸町」と合併して「杉並区」となります。大字「成宗」は、「成宗一・二・三丁目」となりましたが、大字「田端」は、「東田町一・二丁目」と「西田町一・二丁目」となり※1、「田端」の名はここでなくなります。

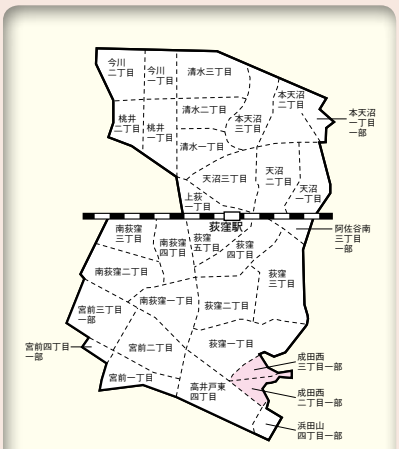
最後の変化は、昭和44年（1969）の住居表示実施でした。「成宗一・二丁目」と「西田町二丁目」の各一部は、「成田西」となり、「松ノ木町」「成宗一・三丁目」と「東田町一・二丁目」の各一部は、「成田東」となって、現在に至ります。

のこされる古い地名

かつての村域を、現在の町域に当てはめてみると、古い地名が各所にのこされていることがわかります。例えば、村名の由来に繋がる小字「矢倉」は「屋倉橋」（成田西）、他にも「成宗須賀神社」（成田西）や「なりむね児童遊園」（成田東）「東田小学校」や「東田中学校」（成田東）などです。そして「荻窪一丁目」には、「田端神社」をはじめ、「西田小学校」や「西田端橋」もあります※2。このように施設名の中に、かつての地名がのこされています。

※1：「成宗村」の西側にある「田端村」が「西田町」、「成宗村」の北東部にある「田端村」の飛び地が「東田町」となりました。
※2：「田端村」の村域である「西田町一丁目」が「荻窪一・二・三丁目」の一部となったためです。

主要参考文献
『文化シリーズ19杉並の地名』（昭和53・杉並区教育委員会）



現在の「成田西」
※当センターの対象地域を示しています。

講演会 駐日ニカラグア大使大いに語る

中央アメリカ中央部に位置するニカラグア共和国は、日本の北海道と九州を合わせた広さで、約600万人の人々が暮らしています。日本にあまりなじみがあるとは言えない国ですが、駐日ニカラグア特命全権大使サウール・アラナ氏の講演を聞いて、ニカラグアへの理解を深めてください。

★日　時：11月25日（土）午後2時～4時
★場　所：荻窪地域区民センター 第1・2集会室

（詳細はP4の「講座案内」をご覧ください。）

サウール・アラナ氏

来て！ 見て！ 体験して！ 楽しもう!!

イベント報告

第39回 荻窪センター祭

1850人が各種イベントを楽しみました！

7月8日(土)・9日(日)恒例のセンター祭が行われました。今までの最高の入場者でこども達の愛らしいパフォーマンス、シルバーの元気で華麗なファッションショー、地域の方々の郷土芸能や各種展示、ワークショップ、交流自治体の産地品即売等々、盛り沢山のイベントに皆さんが興じていました。

バトントワリング

鉄道模型運転(杉並工業高校)

工作教室

折り紙ワークショップ

伝統芸能

移動プラネタリウム

南米アンデス音楽

スタンプラリー抽選

産直販売

第9回防災フォーラム みんなの安心・安全フェスタ

去る9月10日(日)、「今、直下型地震が発生したら、あなたならどうしますか？」をテーマに、防災フォーラムが当センターで開かれました。主会場では中越大震災を経験された佐藤知巳氏の講演の他、日本フィルハーモニー交響楽団による弦楽四重奏を披露しました。また、会場内では、地域の中学生レスキュー隊による模範演技が行われました。その他、防災備品・災害時の非常食の実験、そして親子で楽しめる缶バッジの作成など、さまざまな展示・実体験の機会が提供されました。来場者からは、防災意識を新たにすることできたと、好評でした。

缶バッジ作成

佐藤知巳氏講演会

日本フィルハーモニー交響楽団コンサート

中学生レスキュー隊による実演

初期消火訓練

講座報告

ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング

●8月3・10・17・24日(木) ●荻窪区民センター 第1・2集会室

8月の暑い盛り、4回にわたって「ヴォイストレーニング」を開催しました。

体の仕組みと腹式呼吸による発声との関係を知ることから始まり、体を動かしながらの発声やグループに分かれての練習など。多様なトレーニングに参加者全員楽しく取り組んでいました。最終日は、「見上げてごらん夜の星を♬」などの素晴らしいハーモニーによる大合唱で大変盛り上がりました。

先天的な音痴と諦めていた講座担当者も、このヴォイストレーニングを積めば少しは歌えるのではないかと思えるような内容でした。

50名の定員に対して70名もの方々に申し込みいただき、ご希望に添えなかった方々には誠に申し訳ありませんでした。

講座のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定 員	参加費	申込締切
なつかしい昭和の歌たち	美空ひばりをはじめとする歌手や音楽家との思い出を交え、戦後を代表する歌の数々を楽しく振り返る。/矢島敦美(元NHK紅白歌合戦プロデューサー)	10月21日(土) 午後1時30分～3時30分	60名	200円	10月8日(日)
背骨を整えよう!腰痛スッキリ体操	腰や肩の痛みでお悩みの方。ご自分で簡単・安全に、痛みを取り除く背骨コンデショニング体操を楽しく身につけましょう。/高橋晃史((社)背骨コンデショニング協会)	11月10日(金)、17日(金) 午前9時30分～11時30分	30名	200円	10月22日(日)
荻窪の記憶⑤井荻村の大英断	今から90年前、郊外住宅地への脱皮を目指し、道路や水道を整備。今日の荻窪の基礎をつくった内田秀五郎村長の区画整理事業を語る。/高見澤邦郎(首都大学東京名誉教授)	11月12日(日) 午後1時30分～3時30分	50名	200円	11月5日(日)
荻窪の記憶⑥西の鎌倉・東の荻窪	明治から大正にかけて、別荘地として注目された荻窪。郊外住宅地の原点になった歴史に光を当てる。/寺田史朗(元杉並区立郷土博物館館長)	11月23日(木・祝) 午後1時30分～3時30分	50名	200円	11月11日(土)
駐日ニカラグア大使大いに語る	長く続いた内戦の混乱を乗り越え、発展の時を迎えたニカラグア。コロンブスの発見によって始まった中米の国の歴史と今を語る。/駐日ニカラグア特命全権大使サウール・アラナ氏	11月25日(土) 午後2時～4時	60名	200円	10月30日(月)
荻窪寄席	聴覚障害のある方にも楽しんでいただける字幕付きの落語と太神楽芸で、毎年好評をいただいている当センター恒例の事業です。演目:「親子酒」と「抜け雀」。/金原亭馬玉・翁家和助	12月10日(日) 午後2時～4時	60名	200円	11月26日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに〈一人一枚〉 ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④性別 ⑤年齢 ⑥電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

「荻窪の記憶」展

期間:11月1日(水)～30日(木)
場所:荻窪地域区民センター・ロビー

明治から大正の初めにかけて別荘地として見出された荻窪は、関東大震災後、多くの文化人を含む多彩な人々が暮らす緑豊かな田園都市に発展しました。「荻窪の記憶」は、そんな戦前の歴史を掘り起こし、後世に伝えるため、当協議会が住民の方々の協力を得て取り組むプロジェクトです。今回、その成果の一端をパネルに展示し、ご覧いただくことにしました。上記の講座と合わせて、身近な歴史をお楽しみください。

★展示の内容と見どころ★

■大田黒公園周辺地区100年の歴史
荻外荘をはじめ史跡や文化財に指定された建物が残る同地区を舞台に、甲武鉄道の開通にはじまる荻窪の歴史を辿る。

■Who's who
日本の近代化を担った医師や実業家、大正の自由な風を感じさせる文化人、そして軍人たち……、同地区に住んだ多彩な住民を紹介。

■初公開! 90年前のホーム・ムービー
荻窪の田園風景、モダンで懐かしい昭和前期の暮らし、笑顔がはじける野外パーティーなど。

※ご観覧のお帰りには、センターの前の道を北に向かって歩く散歩がお勧め。荻外荘、大田黒公園、西郊ロッヂングなど、「荻窪の記憶」を体感できます。

郷土博物館分館企画展

問い合せ:☎5347-9801

分館(西棟2階)

8時だョ! 全員集合
～昭和45年8月8日 旧杉並公会堂生放送～

「ザ・ドリフターズ」の人気番組『8時だョ! 全員集合』を覚えていますか? 昭和44年から60年までの16年間、土曜日の夜8時からTBSで放送された公開バラエティ番組です。子どもたちを熱狂させ、驚異的な視聴率を記録したこの番組は、全国各地の公会堂や市民会館などからの公開生放送番組でした。

昭和45年8月8日には、旧杉並公会堂で公演がありました。その夜、旧杉並公会堂にはどんな舞台が組まれ、子どもたちの歓声が響き渡ったのでしょうか。

毎週、毎週、舞台デザインを手掛けた山田満郎氏の設計図面の数々や「東洋一の公会堂」の評判を冠した旧杉並公会堂の資料を展示してご紹介します。

【開催期間】10月28日(土)～12月10日(日)

「分館10周年記念パネル展示～区民参加型展示の10年」
「学童集団疎開と家族の絆」(西棟1階)
★いずれも10月29日(日)まで引き続き展示しています。

【共通】
●場　所:杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-32-1天沼弁天池公園内)
●開館時間:午前9時～午後5時
●休 館 日:毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
●観 覧 料:無料
●問 合 せ:電話03-5347-9801

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程
10月31日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
11月28日(火) 午後1時～ 会場:第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。

＊「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。
FAX番号:3398-9128